

## 平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年11月13日

上場取引所 東大

上場会社名 タイガースポリマー株式会社

コード番号 4231 URL <http://tigers.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 澤田 博行

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経理部長

(氏名) 渡辺 健太郎

TEL 06-6871-8060

四半期報告書提出予定日 平成20年11月14日

配当支払開始予定日

平成20年12月9日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	17,488	—	768	—	827	—	310	—
20年3月期第2四半期	17,173	15.0	950	11.4	1,030	19.0	431	△1.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	15.50	—
20年3月期第2四半期	21.56	—

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
21年3月期第2四半期	28,758	68.9	20,456	68.9	68.9	989.39
20年3月期	29,682	68.7	21,042	68.7	68.7	1,019.20

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 19,804百万円 20年3月期 20,401百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
21年3月期	—	6.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,000	△2.6	1,300	△27.8	1,300	△28.5	500	△37.5	24.98

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第2四半期 20,111,598株 20年3月期 20,111,598株

② 期末自己株式数 21年3月期第2四半期 95,242株 20年3月期 94,534株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第2四半期 20,016,678株 20年3月期第2四半期 20,018,011株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他の特記事項

1. 当資料に記載の業績予想は、現在入手している情報による判断及び仮定に基づいた予想であり、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は、今後様々な要因により、これらの業績予想とは大きく異なる結果となる可能性があります。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 平成19年3月14日)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間における当社グループの業績は、原材料価格の高止まり及び価格転嫁の遅れ等の影響を受けることとなり、売上高174億88百万円（前年同期比1.8%増加）、営業利益7億68百万円（前年同期比19.2%減少）、経常利益8億27百万円（前年同期比19.7%減少）、四半期純利益3億10百万円（前年同期比28.1%減少）と増収減益になりました。

なお、当連結会計年度より四半期会計基準を適用しているため、前年同期比については参考として記載しております。

#### 部門別の状況

ホース部門は、国内では家電用ホースが増加しましたが、産業用ホースは住宅用ホースの不振により減少しました。海外では、米国で生産する産業用ホースが円高による為替の影響により減少したほか、マレーシア及び中国で生産する家電用ホースが減少しました。この結果、ホース部門全体の売上高は、44億66百万円（前年同期比5.2%減少）となりました。

ゴムシート部門は、国内の設備投資の低迷により汎用のシートは減少しましたが、玄関用マットは堅調に推移しました。この結果、ゴムシート部門全体の売上高は、27億33百万円（前年同期比1.6%増加）となりました。

成形品部門は、主力の自動車部品が海外では円高による為替の影響を受けましたが、主として国内及び中国において好調に推移しました。この結果、成形品部門全体の売上高は、96億15百万円（前年同期比5.3%増加）となりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

流動資産は、前連結会計年度末に比べて1.3%減少し、159億61百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少2億74百万円等によるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べて5.2%減少し、127億97百万円となりました。主な要因は、有形固定資産の減少5億98百万円、投資その他の資産の減少1億4百万円等によるものであります。この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて3.1%減少し、287億58百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて1.7%減少し、72億85百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の減少1億68百万円、未払金の減少1億27百万円等によるものであります。固定負債は、前連結会計年度末に比べて17.2%減少し、10億16百万円となりました。主な要因は、長期借入金の減少1億50百万円等によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて2.8%減少し、204億56百万円となりました。主な要因は、為替換算の影響による為替換算調整勘定の減少6億99百万円等によるものであります。この結果、1株当たり純資産は989円39銭、自己資本比率は68.9%となりました。

#### （キャッシュ・フローについて）

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、資金という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ3億76百万円減少し、40億48百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動の結果得られた資金は、9億78百万円（前年同期比43.6%減少）となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益7億34百万円、減価償却費10億61百万円であり、支出の主な内訳は、売上債権の増加額2億68百万円、法人税等の支払額2億44百万円等であります。

投資活動の結果支出した資金は、11億21百万円（前年同期比51.9%減少）となりました。支出の主な内訳は、定期預金の預入による支出4億43百万円、有形・無形固定資産取得による支出8億50百万円等であります。

財務活動の結果支出した資金は、1億22百万円（前年同期比24.8%減少）となりました。収入の主な内訳は、短期借入金の借入14億50百万円であり、支出の主な内訳は、短期借入金の返済11億50百万円、長期借入金の返済3億円、配当金の支払額1億20百万円等であります。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

最近の業績の動向等を踏まえ、平成20年10月30日に平成21年3月期通期の業績予想を修正いたしました。当該予想に関する詳細は、「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、通期の業績予想につきましては、平成20年10月30日公表の数値は変更していません。

### 4. その他

#### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

#### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

##### ①簡便な会計処理

##### 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

##### 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

##### ②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

#### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

(会計基準等の改正に伴う変更)

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 平成19年3月14日)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日)を第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。

この結果、従来の方法によった場合に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益はそれぞれ25百万円増加し、税金等調整前四半期純利益は65百万円減少しております。

③ 第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号 平成18年5月17日)を適用しております。なお、この変更による損益への影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,059	5,333
受取手形及び売掛金	7,602	7,478
商品	261	254
製品	1,139	1,179
原材料	930	955
仕掛品	250	264
貯蔵品	94	94
繰延税金資産	215	294
その他	433	352
貸倒引当金	△ 23	△ 30
流動資産合計	15,961	16,177
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,570	3,793
機械装置及び運搬具	3,890	4,193
工具、器具及び備品	758	860
土地	1,668	1,536
建設仮勘定	939	1,041
有形固定資産合計	10,827	11,425
無形固定資産	288	293
投資その他の資産		
投資有価証券	1,388	1,509
繰延税金資産	49	55
その他	250	231
貸倒引当金	△ 6	△ 11
投資その他の資産合計	1,681	1,785
固定資産合計	12,797	13,505
資産合計	28,758	29,682

	(単位：百万円)	
	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,684	3,852
短期借入金	1,150	850
1年内返済予定の長期借入金	150	300
未払金	1,224	1,352
未払法人税等	215	165
賞与引当金	366	355
役員賞与引当金	20	39
その他	474	496
流動負債合計	7,285	7,412
固定負債		
長期借入金	—	150
退職給付引当金	625	499
役員退職慰労引当金	237	230
繰延税金負債	20	97
その他	133	250
固定負債合計	1,016	1,227
負債合計	8,301	8,640
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,149	4,149
資本剰余金	3,900	3,900
利益剰余金	11,573	11,383
自己株式	△ 50	△ 50
株主資本合計	19,573	19,383
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	263	350
為替換算調整勘定	△ 32	667
評価・換算差額等合計	230	1,017
少数株主持分	652	640
純資産合計	20,456	21,042
負債純資産合計	28,758	29,682

(2) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	
売上高	17,488
売上原価	14,246
売上総利益	3,242
販売費及び一般管理費	2,473
営業利益	768
営業外収益	
受取利息	19
受取配当金	21
不動産賃貸料	12
その他	34
営業外収益合計	88
営業外費用	
支払利息	10
不動産賃貸原価	2
為替差損	12
その他	4
営業外費用合計	29
経常利益	827
特別利益	
固定資産売却益	0
貸倒引当金戻入額	3
特別利益合計	3
特別損失	
固定資産売却損	1
固定資産除却損	5
たな卸資産評価損	90
特別損失合計	97
税金等調整前四半期純利益	734
法人税、住民税及び事業税	298
法人税等調整額	64
法人税等合計	362
少数株主利益	61
四半期純利益	310

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	734
減価償却費	1,061
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△ 11
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△ 19
受取利息及び受取配当金	△ 41
支払利息	10
為替差損益(△は益)	0
固定資産除却損	5
売上債権の増減額(△は増加)	△ 268
たな卸資産の増減額(△は増加)	△ 11
仕入債務の増減額(△は減少)	△ 81
その他	△ 185
小計	1,192
利息及び配当金の受取額	44
利息の支払額	△ 13
法人税等の支払額	△ 244
営業活動によるキャッシュ・フロー	978
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△ 443
定期預金の払戻による収入	300
有価証券の取得による支出	△ 81
有形及び無形固定資産の取得による支出	△ 850
投資有価証券の取得による支出	△ 4
その他	△ 40
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,121
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	1,450
短期借入金の返済による支出	△ 1,150
長期借入金の返済による支出	△ 300
自己株式の売却による収入	0
自己株式の取得による支出	△ 0
配当金の支払額	△ 120
少数株主への配当金の支払額	△ 1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 122
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 111
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 376
現金及び現金同等物の期首残高	4,425
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,048

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 平成19年3月14日)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間 (平成20年4月1日～平成20年9月30日)

当グループは、製品の種類、性質、製造方法、販売市場等の類似性から判断して、同種・同系列の各種部品及び部品素材の製造を業とする単一事業ですので、開示の対象となるセグメントはありません。

【所在地別セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間 (平成20年4月1日～平成20年9月30日) (単位：百万円)

	日 本	米 国	ア ジ ア	計	消 去 又は全社	連 結
売上高						
a. 外部顧客に対する売上高	10,374	4,798	2,315	17,488	—	17,488
b. セグメント間の内部売上高又は振替高	472	3	405	881	(881)	—
計	10,846	4,802	2,721	18,370	(881)	17,488
営業利益	90	63	371	526	242	768

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域 アジア …… タイ、マレーシア、中国

3 会計処理の方法の変更

「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)を第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。この結果、従来の方法によった場合に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益は、日本で25百万円増加しております。

【海外売上高】

当第2四半期連結累計期間 (平成20年4月1日～平成20年9月30日) (単位：百万円)

	北 米	ア ジ ア	計
I 海外売上高	4,796	2,342	7,139
II 連結売上高			17,488
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	27.4	13.4	40.8

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

北 米 …… 米国、カナダ

ア ジ ア …… タイ、マレーシア、中国

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。



「参考資料」

前中間期に係る財務諸表等

(1) 中間連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	
	金 額	百分比
I 売上高	17,173	100.0
II 売上原価	13,742	80.0
売上総利益	3,431	20.0
III 販売費及び一般管理費	2,480	14.5
営業利益	950	5.5
IV 営業外収益	97	0.6
1 受取利息	44	
2 受取配当金	17	
3 不動産等賃貸料収入	12	
4 為替差益	3	
5 その他	19	
V 営業外費用	17	0.1
1 支払利息	11	
2 不動産等賃貸料原価	2	
3 その他	3	
経常利益	1,030	6.0
VI 特別利益	5	0.1
1 固定資産売却益	0	
2 投資有価証券売却益	4	
VII 特別損失	30	0.2
1 固定資産除却損	30	
税金等調整前四半期純利益	1,005	5.9
法人税、住民税及び事業税	493	2.9
法人税、住民税及び事業税	421	
法人税等調整額	72	
少数株主利益	80	0.5
中間純利益	431	2.5

(2) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

区 分	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
	金 額
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前中間(当期)純利益	1,005
減価償却費	1,045
貸倒引当金の増減額	6
役員賞与引当金の増減額	7
受取利息及び受取配当金	△ 62
支払利息	11
為替差損益	△ 3
投資有価証券売却益	△ 4
固定資産売却益	△ 0
固定資産除却損	30
売上債権の増減額	326
たな卸資産の増減額	103
仕入債務の増減額	△ 115
その他	△ 111
小計	2,238
利息及び配当金の受取額	58
利息の支払額	△ 13
法人税等の支払額	△ 549
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,734
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
定期預金の預入による支出	△ 557
定期預金の払戻による収入	34
有価証券の取得による支出	△ 99
有価証券の売却による収入	99
有形・無形固定資産の取得による支出	△ 1,789
有形・無形固定資産の売却による収入	6
投資有価証券の取得による支出	△ 31
投資有価証券の売却による収入	8
貸付金の回収による収入	0
その他	△ 0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,329
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入れによる収入	1,350
短期借入金の返済による支出	△ 1,350
自己株式の取得による支出	△ 0
配当金の支払額	△ 159
少数株主への配当金の支払額	△ 1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 162
<b>IV 現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	114
<b>V 現金及び現金同等物の増減額</b>	△ 643
<b>VI 現金及び現金同等物の期首残高</b>	5,226
<b>VII 現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	4,583

(3) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前中間連結会計期間 (平成19年4月1日～平成19年9月30日)

当グループは、製品の種類、性質、製造方法、販売市場等の類似性から判断して、同種・同系列の各種部品及び部品素材の製造を業とする単一事業ですので、開示の対象となるセグメントはありません。

【所在地別セグメント情報】

前中間連結会計期間 (平成19年4月1日～平成19年9月30日)

(単位：百万円)

	日 本	米 国	ア ジ ア	計	消 去 又は全社	連 結
売上高						
a. 外部顧客に対する売上高	10,131	4,756	2,285	17,173	—	17,173
b. セグメント間の内部売上高又は振替高	750	3	298	1,051	(1,051)	—
計	10,881	4,759	2,584	18,225	(1,051)	17,173
営業費用	10,571	4,604	2,276	17,452	(1,229)	16,222
営業利益	309	155	307	772	178	950

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域 アジア …… タイ、マレーシア、中国

【海外売上高】

前中間連結会計期間 (平成19年4月1日～平成19年9月30日)

(単位：百万円)

	北 米	ア ジ ア	計
I 海外売上高	4,737	2,330	7,068
II 連結売上高			17,173
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	27.6	13.6	41.2

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

北 米 …… 米国、カナダ

ア ジ ア …… タイ、マレーシア、中国

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。